

# 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

## 1. 日時

令和5年9月25日（月曜日）午後7時から午後8時15分

## 2. 場所

西区役所（大阪市西区新町4-5-14）4階402会議室

## 3. 出席者

### ・委員（50音順・敬称略）

有富恵子（九条南小学校学校協議会）、川口智（明治小学校学校協議会）、斎藤正浩（日吉小学校学校協議会）、田原栄太郎（九条北小学校学校協議会）、中川志穂（九条東小学校学校協議会）、東達也（西中学校学校協議会）

### ・事務局

三村西区担当教育次長（区長）、村上西区教育担当部長（副区長）、玉置西区教育担当課長、藤本西区教育担当課長代理、村上担当係長、池田係員

### ・校長

大呂九条東小学校長、松田西中学校長

## 4. 議題・議事要旨

- ・西区の教育関連施策について
- ・西区における教育環境改善について
- ・西区将来ビジョン、西区地域福祉ビジョンの改訂について

### ・主な質問・ご意見

#### 【斎藤委員】

不登校要因について、国の調査では児童生徒本人に起因する「無気力、不安」などが最も多く、「生活のリズムの乱れ、あそび、非行」となっているのだが、その他っていうのを無視していいのかっていうぐらいのレベルで数が少ないのか。気になったのは、発達障がいの児童、生徒さんって、そもそも馴染むことが難しいというのがあるかと思うが、そういった要因は全くカウントされていないのか。

#### 【玉置課長】

6 ページに書いている通り、「無気力、不安」が最も多く、他は「生活リズムの乱れ、あそび、非行」。「友人関係をめぐる問題」、「親子の関わり方」など多岐に渡ると書いてあり、私は「無気力・不安」ばかり申し上げたが、委員がおっしゃるように多様な要因があると思う

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

し、なかなか親にとっても、先生が見ても何が原因かパッと見てわからない状況があるかと思う。研究によると、委員おっしゃっておられた通り、背景にあるのがやはり発達障がいのなですね、そういった特性があるのが大いに関わっているという状況も実際にあるとは聞いている。

### 【齋藤委員】

それを受けて、例えば日吉小学校でも、支援学級だけでも、10数クラスあるかと思う。度合いは、軽度であるなど色々あるかと思うが、発達障がいが見込まれる、もしくはその疑いがある生徒数が年々増えていると思う。そういったことに対して西区としての施策をお聞きしたい。

### 【玉置課長】

発達障がいの方への支援はなかなか教育委員会全体で見ても課題になっているところである。西区役所としては、スクールソーシャルワーカーを区役所に1人配置している。あと、子供サポートネットで支援員を2人配置しているが、そういった課題のある子どもたちの相談に応じる中で、大体その原因の一つとして、そういった特性をお持ちの方っていうのも結構背景にあったりするので、そういったところで、ご相談いただいた場合に何か相談のれることを見つけていこうという形で専門職を配置しているのが現状である。

### 【東議長】

個人的にはすごく新鮮に感じたのが、ご紹介にあった心和中学校。本市初の不登校生徒特例校として、来年4月開設予定ということだが、区は違うが、もしかしたら転校も視野に入れて区が変わってしまうが、より良い、適した環境に向けて転校する方や検討される方もいるかと思う。これから具体的に、中学校ではそういったような案内をしていくのか。

### 【松田校長】

心和中学校、データが間違っているのかな、全学年で80人。各学年ではないかと思う。実はうちの学校でも8月に市教育委員会の担当者に来てもらって、ちょっと学校に来にくい生徒を持つ保護者に働きかけて西中学校の中で説明会を開いた。保護者は非常に興味を持っていたが、基本的に転校しっ放しになるので保護者や躊躇しており、ちょっとハードルが高いと思った。それと建物が建設中でまだ完成していない。それで実際にどうなのかわからないところがあるということもあり、ちょっと踏み込めないってことだった。全国的には不登校特例校はたくさんできており、大阪でも20数校目だったと思う。先行事例でできている学校は、本当にもう今まで行けなかった子が来れてうれしいと言っている保護者はたくさんいる。そういう意味では、非常に期待もあるが、まだ何も建物もできてないしよくわからないので、当初想定したほどに人が殺到しすぎてこの80名の枠を大幅に超えてしまうの

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

ではないとかね、いうところまでは行ってないっていうのが現状である。ただ年度途中でも転校できるので、来年学校できてからは、急に行く子は増える可能性はあると思うので、その時に溢れてしまう可能性はないことはないと思う。他府県でも、実際には学校のキャパシティ以上に、希望者があって、結果的には選考せざるをえないことが起こっている。

それと先程の不登校の原因についての調査は文科省が昔から同じ項目でやっている調査であり経年変化みたいにならずと変えていない。今おっしゃったように、発達障がいの原因で無気力、不安になっているのか、発達障がい理由で生活が乱れているのか、またそういった事情で友達とトラブル起こっているのかっていうのがわからないので、今文科省の中でこの部分については、項目を精査して、いま一度考え直そうというふうなことで、先程ご指摘あった発達障がい要因になったかどうかということも、新たに項目としてこの中で細分化されていく方向にあると思う。実際それについてどうするかであるが、なかなか区の施策というよりも大きく言うと、支援学級のこともあったが、発達障がいの方について、本来的に学校の中で一番対応した通級指導教室ですね、通級指導ってあって、いわゆる障がいがあると言っても、すべての授業について、学校の教室で受入れることについて、ただし障がいがあるとかいう、なかなかそのいろんな適応について課題がある生徒については、授業は全部教室で受けて、放課後に通級という仕組みで、そこでソーシャルスキルトレーニングや対人関係のコミュニケーション、トレーニングをして課題を克服して、学習できるし学校も定着できるっていうかそういう事例を作るためにやっていた通級指導というものでその発達障がい対応っていうのはやっぱこれから通級指導が増えていくと思う。

大阪市の通級指導については、支援学級全体は数も多いし進んでいると思うが、通級指導はちょっと残念ながら全部すごく遅れているってことがあって、今、大阪市教育委員会もその支援学級での指導から通級への指導へ移行しようとして、この2、3年間で全校へと西中学校や東中学校にはあるが、ない学校にもこれから通級を設置していこうということで、多分この2、3年の間に、全校初配置になって、そこでの専門的な指導がスタートすると思う。

### 【有富副議長】

単純に少し、ずっと疑問に思っていたが、スクールカウンセラーが各学校に配置されているかと思うが、こちらの方に、相談に皆さん来られているのか。

スクールカウンセラーを配置しても結局そこにまで至らない、学校に正直言っても仕方がないと思ってしまうなど、知り合いのお子様でちょっと学校になかなか通うことの難しいお子様もいる。相談するよりもフリースクールの方にも、行ってくださいみたいな感じでとられてしまって、フリースクールに週2ぐらいで通っている状態ではあるみたいだがお子様は今精神的にはすごく落ち着いている。なぜ学校に行けないのかとか、この心和中学校がもしできたとしても、結局これが中学校と同じなのかどうかとか、そういうあたりがやっぱり浸透していないのと、あと一般の保護者に、やっぱり皆さんやっぱり隠したがるというかあまり公にしたいくないと思うが、なかなか私の子供は学校に行っているのに、不登校の方に、

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

どれぐらいいらしやるのかとかそういうのがあまり公開ももちろんされていないので、何か狭い中で話し合っていると、やっぱりいろんな意見が入らないのかなあというのもあったりするのでもっとと收拾つかなくて申し訳ないのがスクールカウンセラーの方がもう少し、いろいろと、踏み込んだことをしていただけたらと思う。単なる相談にのるだけじゃなくて、もう一步踏み込んだ話ができたりするなど、学校との話し合いとか、できたらいいのではないのかなあと思う。今までスクールカウンセラーの方があんまり正直機能してないのではないかなあというのが、私がちょっと感じている意見である。

### 【松田校長】

スクールカウンセラーさん、ちょっと年度により差があるが、わりとほぼ予約でいっぱい、大体、1日6時間勤務しているが、大体4件5件予約がはいっていて相談したいって言うても入れられないこともある、うちの学校では今年はずいている。もうちょっと活用して欲しいなっていうのもある。割と学校からするとスクールカウンセラーさんにつなぐっていうのはもう、どの教員も基本的にはしている。不登校や或いは少しメンタルが不安定だと言ったら、やっぱりスクールカウンセラーは第三者的な立場を持っていますから、学校によってもすぐに相談できるってこともあるので、すごく大事な一つの窓口である。

それは学校もできるだけつなごうと思っている。繋ぐ場合も繋がってそこでいろいろ関係ができる場合もある。最近ちょっと多いのは、一度話をしたのだが、話を聞いてもらえるだけですかという感じで終わってしまってなかなか続かないっていうところが、その辺は少し難しいなあと思う。そういう意味でいうと、スクールカウンセラーさん自身の持っているスキルとか知識の問題もあると思うし、正直相性もあると思う。もしあまり機能しないってことであれば、ちょっとそこは考えていかなないといけないと思う。学校としてこうしたらいいなっていうのは正直思い浮かばないところがあって。スクールカウンセラーさんの活用についてはね。少し難しいなあとは思。どっちかっていうと、年齢が上がれば上がるほどスクールカウンセラーの役割が大きくなっているところがあって、中学生でも割と低学年の子はやっぱりさっき言ったように話聞いてもらうだけやったら必要ないのではないかとあんまり関わろうとしない。高校生とかもうちょっと年齢を重ねるとスクールカウンセラーありがたい存在になっていて、話聞いてもらってよかった。また聞いて欲しいっていうかね、こういうふうな関係になっている。ちょっとなかなかそこまでいっていないかなっていうふうなことが、あると思う。保護者の方がおっしゃるように、なかなかご自身がね、肩身の狭い思いをして、学校にはっきり物が言えないとか、学校に対して遠慮してしまうところはあると思う。できるだけその辺はハードル下げようと思ってこちらを考えようと思うんですけども。なかなかそこまでの関係を保護者と作るのも、できる場合もあればできない場合もあるかなあと思うところもあって、ちょっと難しいかなあと思う。できれば、周りの保護者から、そういうことだったらこんなことおっしゃっているからっていうようなことを横から情報をいれてもらうような形でちょっと動ける方法があるかなと

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

か思ったりする。

### 【有富副議長】

心和中学校は義務教育課程になって、心和中学校卒業という形に。通われたお子様はなるっ  
ていうことですよ。

### 【松田校長】

卒業になるし成績も全部つくので基本的に同じように、ですからテストないんですけども  
ね、ほぼしないと聞いていますけども、ちょっと成績をつけて、ちゃんと中学校卒業って  
いう意味では、他の学校と何も変わらない。

### 【有富委員】

フリースクールに行っているお子様たちも中学校に1日も通わなくても、フリースクール  
のお子さんは、その中学校卒業という形になるのか。

### 【松田校長】

そうなります。うちの学校にもフリースクールに行っている生徒がいるが、西中学校卒業と  
いうことになる。

### 【東議長】

今回の会議は、どちらかといえば不登校についてのメインの話し合いと聞いておりますが、私  
が学生時代小中高、学生時代の頃の不登校って言ったら、あまりこう公にされるものでもな  
くて、どちらかといえば、親も学校に何とかして、通える環境を整えていこうっていうのが、  
その当時の考え方だったと記憶はしてはいるのだが、昨今は様子が変わって必ずしも来な  
いと駄目ですよ、別の方法がありますよとかそういったことを代替の広報とか、それ以外の  
方法で、何とか習熟できる環境を整えていこうっていうのが今のトレンドと聞いてはいる。  
スクールカウンセラーの活用も含めてであるが、今現在この不登校っていうのは、保護者か  
ら学校に対してSOSなのか。何とかしてください、うちの何とか学校行けるようにしてく  
ださいっていう積極的な働きかけが多いのか、それとも関わらないでください。どちらか  
といえばもう子供が行きたくないと言っているのもう学校からの過干渉はやめてください。  
どちらの方が多いいのか。基本は今も昔も変わらないのか。小学校も含めてどうなのか。

### 【大呂校長】

そういうふうに分かれているというので言うと、本当に多岐に渡っていて、やっぱり学校  
の方にやっぱり支援をお願いしたいという保護者もいるし、本当にもう刺激しないで欲しい  
という保護者もいるので協力してやっていきたいと思いますよとなっているけど、ちょっとやはり

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

親子関係の中ではなかなか行かせきれないとか、もう本当に理由も多岐に渡っている。本当に一つ二つではなくても、いろんな要素が、あるなというのを実感している。

### 【東議長】

心和中学校は何か今の環境を変えてやろうという考える人が利用するのか。

### 【松田校長】

今実際フリースクールなんか行かれています方に見たら、魅力的な選択肢の一つになると思う。登校しやすい環境をつくれているし、授業中しんどかったらここで休んでこの時間は出ておいでね、とかできるし、授業も昼からなので朝起きれない人でも行ける。いろんな意味では、フリースクールよりはすごく行きやすいと思う。

### 【斎藤委員】

自分自身の見識が狭くて知識が足りていないかもしれないが、フリースクールを利用されている子にとって心和中学校が魅力的というなら、フリースクールのデメリットとは何か、魅力的に見えるということは何かしら課題がフリースクール側にあるから解決策として心和中学校を選ぶということになるのか。

### 【松田校長】

単純に卒業資格とはならないし、授業とか成績とか一切関係ないので、フリースクールは学校ではないので。

### 【斎藤委員】

フリースクールに行った場合はフリースクールから実際にいた学校に復帰した上でないと卒業できないということか。

### 【松田校長】

学籍は中学校にあるから1日も来なくても卒業はできる。フリースクールは学校ではなく別の場所で活動しているってことになる。それは学習活動とは言えない。

### 【斎藤委員】

わかりました。

### 【有富副議長】

この心和中学校が不登校の特例校として、知られてしまうと、この中学校卒業ということになるとこのポストは不登校だったのだなっていうことをあまり知られたくないという親御

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

さんもいらっしゃるのかと思う。

もしこの中学校卒業という名前がつくので普通に西中卒業であったりとか堀中卒業であったりとかしたら、その時に不登校であったかどうかというのは将来的にわからないと思うのだが。ただ心和中学校卒業となると不登校の特例校だったのねっていう意識がちょっと出てしまうのではないかなという懸念が、少しこの中学校卒業という形になるのであれば、ちょっと心配なところではある。

### 【松田校長】

そうですね、そう思われ方も多分いらっしゃると思うが、現実問題では多分あんまり関係ないと思う。はっきり言って。中学とか高校なんて別に途中過程で、そのあと社会に出てきてどうするかっていうそこで本当に実力が問われているところだと思う。例えば教員採用試験で心和中学校卒業だからってことで、それが何か結果的に、影響することはないと思う。例えばな話ですけど。そういうものだと思う。

### 【玉置課長】

先ほど心和中学校の関係のお話なのでこの場を借りてお詫びをさせていただく。資料の9ページについて、松田校長先生ご指摘の通り中学校1から3年で合計70名募集というのが正しい内容である。申し訳ございませんが訂正させていただく。中学校1から3年で合計70名とする。が正しい。

心和中学校では、24区大阪市全域をもちろん募集をしているので、当然西区のみの方の募集ではなく、隣の区にあるとはいえ必ず皆がそこまで通っていくかどうかは、本当に今置かれている状況、保護者生徒人それぞれかなと思う。

私どもとしても、何とかこういった心和中学校が来年度できるのは大阪市にとって見れば大きな転機にはなるかと思うが、何か西区の中で、できることはないのかなというふうな思いです。今ちょっと進めようとしているところである。

先ほど有富委員が言われたように保護者とかに情報がなかなか入ってこないといいますか、保護者が不安になっておられるのではないかなというふうな趣旨のお話とかがあっていうのは、どうしていったらいいのかと私も今思ったところであるし、あと不登校の子なので、必ずこういう施策をやってあげれば、みんなそっちに行くだろうということでもないのかなっていう私どもすごく悩んでおり、いろんなパターンがあろうかと思う。

今も現にフリースクールであったりとかいろんなことであつたりも引きこもっている方も多くいてというふうなことで、何とかそういった方にいろんな多様な選択肢を何か一つ例えばですね、選択肢をふやすことができないのかなという思いで、いろいろ考えたいなと思っており、本日またちょっと引き続きいろんなご意見皆さんご発言ない方も含めてご意見いただければと思っている。

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

### 【宮田委員】

教育環境改善についての資料 8 ページ目ですが、令和 6 年度までの情報が載っていますけれども、これ以降の中長期的な、計画などがあれば、次の会議でも資料に載せていただけたらと思う。中之島小中一貫校についてだが、西船場小学校では、次回、10 月ぐらいに説明会あるかと思うが、花乃井中学校でもできれば説明を行って欲しいなと思っている。本田小学校、明治小学校出身の子が情報を得るっていうのがちょっと難しい状況ではないかなと思っており、保護者がちょっと不安に思っておりますので、ぜひよろしく願いたい。

### 【山住委員】

中之島小中一貫校のキャパシティ、各学年のクラス数はどうなっているのか。

### 【玉置課長】

確認をしてお知らせする。

### 【田原委員】

ちょっと話が戻るが、不登校のお話で、先ほど議長が前向きな保護者が多いのかそれとも後ろ向きの保護者が多いのか。これすごく面白いじゃないですけどすごくいえているのではないか。前向きな保護者が多いなら、先ほどおっしゃるように心和中学校へ向かう。後ろ向きである保護者さんについては、本当にコロナの時から、すごく増えてきているのではないかなと。それである当時、統計の方で出ている数字も 3 年からだが、4 年度を集計したらまだそれよりちょっと上回るのではないかなと予測する。安易な考えだが、そのまま平行線か、軽く下がり、右肩下がりのグラフになっていくのではないかと見させていただいた。経済学者のトッピル、経済の資本主義が進むにつれて利己主義な考えの方が増えていくってということも踏まえると、言えているかと個人的には思った。

### 【玉置課長】

先ほどの中之島小中一貫校の分クラス数の件だが、小中学校なので 1 年生から、中学 3 年生 9 学年まであり、各学年 2 クラスで 18 クラスとなる。

### 【宮田委員】

在校生対する説明が不足だと思う。自身の息子も中之島小中一貫校に通える選択肢があるが、説明やどういう手順を踏んだら、そこに応募できるのかわからない。そんな状況なので。何かアクションがあればいいかと思う。

### 【有富副議長】

教育関連施設施策についてちょっと 1 点だけちょっと。お伝えしたいなと思うことがある。

## 令和5年度 第1回 西区教育会議 会議録

2 ページ目のトライグループによる夏季講習会の件だが、これ塾代助成、カードを使えることになっていて、確か5日間で1万円、7月1万円8月1万円で上の子が、一年生の時に、受けたが、実際塾助成を持っている人はこの時点ではもう塾助成を使っているので、塾代助成使えますよってというふうに1年の頃に私は使ったが、2年からは別のところで使ったので結局参加しなかった。予算額の方も67000円ということで、あまり割いてないなというのがあったので、西中でもあまり参加されている方いらっしゃらなかったのすごくいいことなのにもったいないなあという気がした。

塾代助成が使えるよというわけではなくてもう少し金額を下げして日数、5日間なのを3日にすればもうちょっと参加しやすくなるのかなと思う。

実際に参加した身として思ったので、ご検討いただければと思う。